

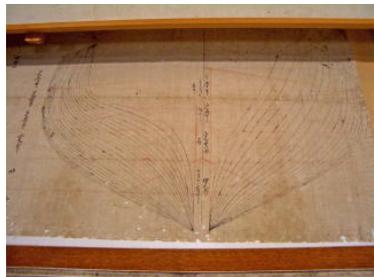
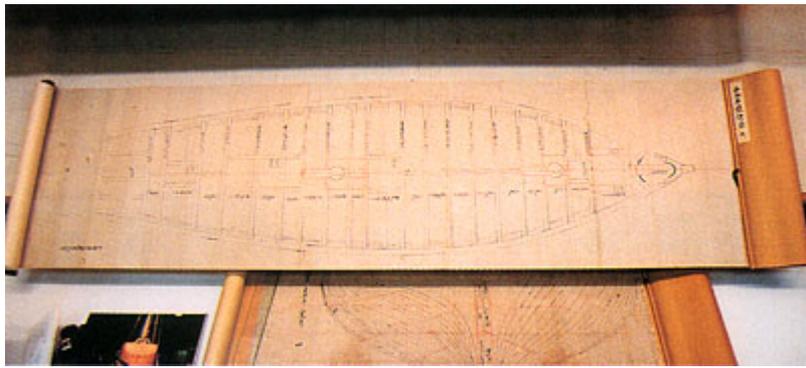
「ふね遺産」(応募様式) : A4一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

2017年11月28日提出 氏名(個人名または団体の代表者名) : 山下泰生

所属(個人は住所) : 株式会社神戸製鋼所溶接事業部門

メールアドレス : yamashita.yasuo@kobelco.com

その他の連絡先 :

No.(*)	内容	備考
1. 対象物・資料の 名称・所属 または所有者	ヘダ号の設計図 沼津市立造船郷土資料博物館	1853年にロシア船ディアナ号が沈没。ロシア人船員がロシアに帰国するために1854年に戸田で建造したヘダ号の図面
2. 対象物の 作成・存在時期	1853年~1854年	
3. 現状 (写真添付)	  (日本財団)	<p>この設計図はヘダ号の建造に携わった船大工・石原藤蔵の家に残されていたものです。設計図も経験もない洋式船の建造、しかも言葉も通じない中で、苦勞して描き上げた設計図です。ロシアと日本の通訳がオランダ語で会話し、それぞれの言語に翻訳して伝えるという手間のかかる作業を重ね、協力し合って造り上げました。</p> <p>(沼津市ホームページより)</p>
4. ふね遺産 認定基準の 該当項目 (**)	【認定対象】 (4) 【認定基準】 (4)、(7)、(11)	
5. 歴史的・ 工学技術的 意義	日本に洋式造船技術が伝わるきっかけとなった。 江戸末期に墨(尺貫法)で書かれた線図等の図面を見ることができる。	
6. 参考資料・ 文献 (本表に収まらない場合は 別途添付する)		

(*) No.は学会で記載します。

(**) ふね遺産認定基準の【認定対象】と【認定基準】の項目の内、該当する項目を、文頭の番号で記載して下さい(複数項目可)。